



「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 バリアフリー日本語字幕版

2024年11/22~12/5まで延岡シネマにて上映決定！

11/22~28まで上映時間 10:00 (1日1回のみ上映) 11/29~12/5までの時間は未定です。

宮崎県延岡市北町 1-1-13 Tel0982-21-8888

11/24 (日) 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」
映画上映+講演付特別上映決定
開場 9:30 映画上映 10:00~12:05
講演 12:10~聴覚障害者協会企画
延岡に住むコーダの方をお招きしてトーク、
質問コーナーなど



料金：大人¥1900 シニア割引¥1300 (要証明証)
専門・大学¥1400 (要学生証) 高校・中学¥1000 (要学生証)
小学生¥1000 三歳以上幼児¥1000
障がい者割引¥1000 (障がい者手帳ご提示・付き添い1名まで)
水曜日サービスデー (どなたでも) ¥1300
※割引券・割引サービス・サービスデーの併用はできません。

呉美保監督9年ぶりの長編作品

耳のきこえない母ときこえる息子の物語を 繊細に紡いでいく

『そのみにて光輝く』『きみはいい子』で高く評価されてきた呉美保監督が、約9年ぶりとなる長編作品のテーマに選んだのは、コーダ (Children of Deaf Adults/きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供という意味) という生い立ちを踏まえて、社会的マイノリティに焦点を当てた執筆活動をする作家・エッセイストの五十嵐大さんによる実録ノンフィクション「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと」。耳のきこえない母ときこえる息子の物語を点描のように繊細に紡いでいく。脚本を担当したのは、『正欲』『アナログ』(23)、『とんび』(22)等を手掛ける港岳彦。そして、主演を務めるのは『キングダム』シリーズ、『東京リベンジャーズ』シリーズ等の話題作から、作家性の強い監督作等、幅広い作品に出演し、今年は6本の出演作品が公開するなど俳優としてチャレンジを続ける吉沢亮。本作でも難役に挑戦、耳のきこえない両親の元で育った息子・五十嵐大の心の軌跡を体現する。才能あふれるスタッフ、キャストによって紡がれる誰もが共感する母と息子の物語が公開となる。

伝えられない想いがあふれだす。

母に背を向け、故郷を離れたぼく。
繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。
脚本は、延岡出身の港岳彦さんです。

宮城県の小さな港町、
耳のきこえない両親のもとで
愛されて育った五十嵐大。

幼い頃から母の“通訳”を
することも“ふつう”の
楽しい日常だった。
しかし次第に、周りから
特別視されることに戸惑い、
苛立ち、母の明るささえ
疎ましくなる。

心を持って余したまま20歳に
なり、逃げるように
東京へ旅立つが……。